

## 01

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

## 第1回地域夢・未来カフェ in 緑台・陽明

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため「第1回地域夢・未来カフェ in 緑台・陽明」が開催されました。

日時：2012年11月23日（金）10:00～12:00

場所：第1自治会館

参加人数：市民17名＋市WGメンバー2名

## 当日のスケジュール

- 10:00 開会、あいさつ（総合政策部政策推進室長）
- 10:05 昨年度懇談会の概要について
- 10:20 フォーラム及びテーブルワークの概要について
- 10:30 イントロ（川西クイズ）
- 10:50 テーブルワーク①『地域の課題について』
- 11:10 テーブルワーク②『実現に向けた取組について』
- 12:00 閉会

## あいさつ・昨年度懇談会の概要について

総合政策部政策推進室の石田室長から、地域分権制度の構築に向けての説明がありました。地域分権が推進される社会的背景や必要性、制度の概要とともに、今年度策定される第5次川西市総合計画における地域別構想の位置づけについても触れられました。

また、これから3回にわたり開催される地域夢・未来カフェの目的や昨年度実施された地域別懇談会との関係などについても説明がありました。



## 地域分権制度とは

市の持続的な発展を図っていくためには、行政の力だけでは限界があります。そこで、これまで行政が主導して担ってきた地域の課題に対し、地域住民自らがその解決にあたるために、一定の権限や財源を地域へ移譲する制度です。

## フォーラム及びテーブルワークの概要について

キックオフイベントとして9月15日に開催された「かわにし夢・未来フォーラム」の報告がありました。地縁型組織とNPOやボランティアなどのテーマ型組織の連携の必要性、面識社会の回復の重要性、市職員の果たすべき役割などについての意見交換が行われたとの説明がありました。

次に、カフェでのテーブルワークの方法についての説明がありました。まず、昨年度実施された懇談会の結果をふりかえり、「地域の課題」や「地域のありたい姿を実現するための取組」の内容を共有しました。その上で、2種類の色のシールを使って投票しながら、特に重要な課題や取組をみんなで議論し、検討していくという流れの説明がありました。

テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、日本全体や川西市の状況についてのクイズが出題されました。



## テーブルワーク

後半は、3つのグループに分かれてテーブルワークを行い、さまざまな意見を出した後に、特に重要な課題と取組を投票し合いました。高齢者等の暮らしの支援については課題で高くなっており、特色ある公園づくりや、高齢者をはじめとした居場所づくりや世代間交流については取組で高くなっています。



### ◆地域の課題について（重要だと思う課題を1人3点選ぶ）

地域の課題	点数	地域の課題	点数
●高齢者や障がい者の暮らしの支援	20	●子育て支援や子どもが育つ環境づくり	6
●オールドニュータウン問題	9	●住民同士のコミュニケーションの促進	7
●犯罪や災害に対する安全・安心	3	●日常生活の利便性の向上	2
●暮らしのマナーの向上	3	●その他	

#### ●追加された主な意見

・高齢者、障がい者、子どもが同じ居場所に ・高齢者の買い物支援をどうするのか ・老人福祉センターの機能の見直し(多様な交流の場にする)  
 ・保育所がなく、若い人がきてくれない ・40も公園があるが活用されていない ・コンビニに駐車場がない ・郵便局の駐車場が遠い ・阪急バスの利便性  
 ・商店街を助けてあげてほしい ・老人福祉センターは「老人」をとって「福祉センター」に ・福祉センターの入浴を有料化に ・公園を活かす  
 ・福祉センターを拠点にする(今は高齢者に限定している、一般化したい) ・放課後の居場所がない ・交流が少ない(多世代交流にする)  
 ・職住接近のまちにする ・松風幼稚園をどうするか ・商業的発展が必要ではないか ・人口を呼び込む特徴的な街にする など

### ◆地域のありたい姿を実現するための取組について（重要だと思う取組を1人5点選ぶ） ※0点の項目は削除

実現に向けた取組	点数	実現に向けた取組	点数
<b>●緑が多く美しいために &lt;8&gt;</b>			
3世代でクリーンアップに参加しよう	2	公園の清掃を地域でする	1
公園の整備を進める	3	緑を保つための管理をする部署を作って、守る	1
緑地帯、公園の桜の維持管理	1		
<b>●お互いが気遣い生涯安心して暮らせるために &lt;17&gt;</b>			
近隣住民が挨拶しあう	4	24時間訪問介護事務所の設立	1
元気な高齢者の遊び場と居場所	7	緑台老人福祉センターの入浴有料化(福祉財源の確保)	2
認知症サポーターから見守りシステムの組織	1	民生委員確保のための処置改善	2
<b>●子どもがのびのび遊べ、安心して子育てができるために &lt;8&gt;</b>			
豊富な人材をさらに有効活用(専門性、ボランティア)	1	保育所を作る	1
子ども園の設置	1	空き教室の有効活用(規制緩和)	5
<b>●世代間の交流があり3世代が心地よく暮らせるために &lt;16&gt;</b>			
若い人たちにとって何が足りないのか意見を出してもらおう	1	近所のグループでもっと関わり合いを	1
子ども主体の行事計画を立案(子ども達が)	1	空き家を借り上げて、ふれ合う場を作る	3
児童公園を使いやすく、また特色を持たせる	10		
<b>●安全で安心して暮らせるために &lt;10&gt;</b>			
公園の掃除を子ども達も一緒に(親子、若い人、高齢者)	3	子どもを参加させるために親に周知、説明する	2
自主防犯組織の設立	1	子育てが終わった60歳代の居住者に回覧板にて、地域の防犯、防災への参加の呼びかけ(特に男性は、70歳代ばかりの現状)	1
商店街の集約と、駐車場の確保から交通安全	2	コミュニティバス	1

#### ●追加された主な意見

・高齢者が安心して暮らせる街づくり(5) ・買い物の配達(coopでは200円かかる、ネットで出来ればいいが)(2) ・公園を活用する(1)  
 ・世代間交流で街を活性化する ・自主防災の意識づけ(2) ・バス路線の変更、地区間を走ってもらえれば(3) ・緑の環境、街路、公園の維持管理(2)  
 ・歩道の段差解消(バリアフリー化)(2) ・地産地消の対応策として、環境、施設、公園などを利用することも地消 ・3世代でできる企画  
 ・親世代を地域に巻き込む ・家族、友人と一緒に呼び込む ・子どもが企画、大人は応援する ・ポ一スカウトと連携する ・商店街の意見を聞く  
 ・ボール遊びできる公園 ・既にやっている取組は多いが、知らない人も多い ・医療問題に地域でどう取組んでいくか ・老人が外に出る など